

陸上交通事業者との意見交換まとめ

江田島バス(株)
日時：平成 22 年 1 年 25 日（月）10:00～11:30 場所：江田島バス(株)事務所 内容：江田島市地域公共交通総合連携計画（案）について
内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ この計画の実施中や実施後に出てくる課題にどう対応していくか協議が必要である。 ・ バス路線の見直しに関しても公平な視点で一元的な協議ができる場の設置が必要である。 ・ 小中学校の統廃合に係る通学や高齢者など公共交通を利用しなければならない人への対応を視野に入れた方向性が必要である。 ・ バス路線の系統整理について方向性は路線を縮小していくことで理解しており、対応はしていくが、運転手の雇用の関係もあり、すぐにとはいかない。ある程度のリードタイムを持って進めていって欲しい。 ・ この計画検討の中で、廃案となったような物もあると思うが、その事業もどこかで保管しておけば、いつか役に立つかも知れない。 ・ コストなどの路線の評価項目を設定しておく必要がある。 ・ 実施事業については将来を見据えた投資が必要である。その場しのぎの特効薬だけでは解決にならない。

広島県タクシー協会江能支部
日時：平成 22 年 1 年 25 日（月）14:00～15:00 場所：能美タクシー(有)事務所 内容：江田島市地域公共交通総合連携計画（案）について
内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖美地区の交通空白不便地域対策については車両によっては入れない道路も有るであろう。 ・ 実施事業者については、市内事業者に限った形にして欲しい。市内地域に密着した事業者が行うことで利用者にとっても便利が良くなると思う。 ・ どんな形でもとりあえずやってみるということが必要。その取り組みの中で随時修正は行っていけばよい。 ・ 相乗りタクシーの仕組み作りについては、他の自治体でも行っていることなので、十分研究して欲しい。場合によってはみんなで視察に行ってもよいと思う。 ・ 陸上交通については、やはりバスと同じテーブルで協議をする必要があるので、実施事業の具体的な話が進めば、その場の設定も必要である。